

# “鮮度一番！”

No.160

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 新コーナー 明日への一步 ～宮城からの復興だより～
- 2 / ひとことコラム 運営委員会で話し合われたこと
- 2～4 / 運営委員会で話し合われたこと
- 5 / 新年度の活動に向けて、運営委員よりひとこと  
おとなの女性のためのただツアー参加報告
- 6 / 会員を募集しています！ 編集後記

新コーナー

**明日への一步**

～宮城からの復興だより～

はじめまして。これから記事を寄せることとなりました、菅原清香と申します。

私は宮城県仙台市の出身です。この春まで三条に住んでいましたが、先日地元である宮城に戻り、復興支援活動に携わることとなりました。

東日本大震災の発生から1年以上が経ちましたが、東北の復興はこれから長い道のりが続きます。私自身の宮城での取り組みや、被災地で見たこと・聞いたことを、皆さまにお便りを書くような気持ちでお伝えしていきたいと思っております。復興支援活動といっても様々な活動があるので、今回は、私が今後取り組んでいく3つの活動について、自己紹介も兼ねてお伝えしたいと思います。

1つめは、支援者のケアです。長く続く復興への道のりの中、被災された方々はもとより、「支援者のケア」も急務とされています。今年4月に、宮城県内の支援者の方々と「支援者のための支援センターTOMONY」を立ち上げました。これから様々なケアプログラムに取り組んでいく予定です。

2つめは、地域一体で取り組む防災教育・福祉教育の推進です。震災後「絆」という言葉がよく聞かれるとおり、地域住民が一体となり次世代を担う子どもたちとともに、地域の防災力・福祉力を高めていく取り組みを、コーディネートしていきたいと考えています。

3つめは、ボランティア活動の推進です。震災後全国各地から東北に向けて、多くの方々にボランティアに駆け付けていただきました。また、被災地内でも多くの助け合い活動がありました。そのようなボランティア精神を「大変なとき」だけに終わらせず、普段から暮らしを良くする取り組みの一つとして定着するよう、働きかけていきたいと考えています。

それでは、これからどうぞよろしくお願ひします。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局  
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 防災・福祉学習コーディネーター  
菅原 清香

先日、トキの二世誕生で沸いている佐渡に行ってきました。

カンゾウの丘はまだ三部咲き程度でしたが、お天気に恵まれたため、大野亀の頂に立つと、360度見渡せ、真っ青の空と、底まで見通せるほど綺麗な海を見ることができました。あと1～2週間で眼下の丘もカンゾウの花で真黄色に染まることと思いますが、その日も本当にすばらしい眺めでした。

二日目は、前夜の大宴会のアルコールが抜け切らない体に鞭打ち、ドンデン山に登ってきました。登山口付近では、花はほとんど見られませんでした。途中からは、まだ残雪があり、カタクリの花やシラネアオイの見事な群生を見ることができました。そのほかにも白い花やピンクの花など、登山道の脇にかわいく咲いていました。

佐渡には数回行っており、観光地はほとんど観たので、もう行かなくてもいいかな？と思っていましたが、あんなに様々な花が咲く、美しい佐渡を発見し、もう一度行ってみたいと思いました。(山登りは辛いけど・・・)

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成24年7月4日(水)(AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター

6月の運営委員会をお休みにしたので、随分「お久しぶり～」の感がありました。が、元気に9名が集まりました。

次回の運営委員会は、新盆を避けて8月8日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

### 1.

#### 第17回総会を終えて

最初に6月2日に終えた総会について、感想等を話し合いました。

三条女性会議らしくなごやかな総会であったこと、記念講演の勝山百合さんのお話しが、新たな発見の連続でとても良かったこと等が、発言されました。

会員の皆様あつての三条女性会議ですので、どうぞ本年度も皆様のご支援ご協力をお願い致します。

### 2.

#### 「大人の女性のためのしただツアー春編」を終えて

定員20名を軽くオーバーする申し込みがあり一般の参加者は、バスに乗れるギリギリ27名で締めきり、当会の参加者5名は、会員の自家用車で参加しました。

ツアーは、ただただ参加者全員が、「大満足！」で、「次も必ずやってください～！」の大合唱です。訪れた場所、人、味、どれもエクセレントでした。

コーディネーターの近藤洋子さん、お疲れ様でした。

参加された人からお礼の手紙が届いていますので、5ページをお読み下さい。

### 3. 映画「エクレールお菓子放浪記」を終えて

三条市上映実行委員会よりお礼と報告が、届きました。

東日本大震災の復興支援を目的に上映した上記映画に多くの市民の皆様から鑑賞して頂いたこと、また余剰金 467,767 円のうち 200,000 円を福島県南相馬市へ 264,767 円をあしなが育成会「東日本大震災・津波遺児支援」へ寄付をするとのことでした。

ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

### 4. 燕三条エフエム放送(ラジオは〜と 76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

●本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

7月のテーマ 「まちあるき」

①「下田」

② I LOVE 本寺小路 Part. 1

③ I LOVE 本寺小路 Part. 2

④ I LOVE 本寺小路 Part. 3

メンバー：岡村直道(燕三条まちあるき連絡協議会会長)

中條克俊(三条商工会議所青年部三条向上委員会委員長)

本間里子(三線愛好家、三条BBS前会長)

田辺とも子

7月のテーマは「まちあるき」です。一週目は新婚ホヤホヤの中條さんが見る下田のデートスポットや、6月6日に開催した、三条女性会議主催の「大人の女性のための下田ツアー」体験に基づく話です。二週目以降は、本寺小路という魅惑の街についておしゃべりしました。6月1日に開催された「ながおかバル街」での体験談に「三条でもやりたいね〜」と盛り上がりました。聴取者のみなさまに「バル街って何？どんな仕組みなの？」と注目していただければ嬉しいです。どうぞお聴きください。(田辺)



### 5. 市民窓口課より2点の連絡

#### ◆「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」(8月25日)

埼玉県にある国立女性教育会館で開かれる上記フォーラムへ例年とおり市からバスが出るそうです。新たな出会いを求めて一緒に参加しませんか？当会からは、西方、宇治、早川、野崎が参加します。

## ◆「出前講座」の実施について

ひとり一人が輝く男女共同参画社会を目指して上記講座が行われます。早速当会の公開研修会としてガレッジ1 主宰水科江利子さんの「心とカラダのセルフメンテナンス～心とカラダのつながりを知り本来ある自分を活かす～」へ申し込むことになりました。日時が決まり次第お知らせしますので、皆様のご参加よろしくお願いたします。

## 6. 会報への寄稿について

杉野真司さんより当会の広報誌へ寄稿したい人がいるとの紹介がありました。

5月までNPO法人にいがた災害ボランティアネットワークのスタッフで、今は、宮城に戻って活動している菅原清香さんです。彼女が、自分の目で見、体験したことを書く宮城からの復興たより、早速「鮮度一番！」のトップに載せました。

これからも届くたよりで、復興を応援していきたいと思います。



## 7. 審議会等について

安室さんより以下の報告がありました。

### 三条市介護保険運営協議会報告

安室 久恵

平成24年度第1回目の三条市介護保険運営協議会が総合福祉センターで開催された。

新年度新任の委員への委嘱状交付、紹介があった後議題にはいった。議題は①部会構成及び部会委員の指名②平成24年度三条市介護保険運営協議会の審議計画案について事務局から説明があり、両議題とも了承された。

報告事項として①高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画における介護サービスの基盤整備について②介護保険の実施状況について報告があった。今期において特養100が増床される。

その後、地域包括支援センター運営部会及び地域密着型サービス運営部会を開催し、さらに各部会終了後計画運営部会が開催された。

## ★★★ 新年度の活動に向けて運営委員よりひとこと ★★★

### ●宇治 勇

女性の「ワイワイがやがや」の騒音にかき消されないよう、しっかり男性の言葉を届けていきたい！

### ●丸山静江

居心地良く暮らせるお手伝いが、出来たら良いなあーと思っています。

### ●原 道子

“鮮度一番”のお手伝いをさせていただいて160号。今では私のライフワークになっています。少しでもわかりやすく、読みやすく、を心がけていますが、毎月届く原稿の中身の濃さにずいぶん助けられています。鮮度一番は形にとらわれず中身で勝負・・・！です。

### ●早川壹禧

昨年、一寸したきっかけで三条女性会議の方々と出会う機会がありました。初めての雰囲気の中で入会することになり、今年度の総会で私を運営委員にとの話があり、承諾し参加させていただきました。新しい出会いでの暖かく優しい会話の中、心地よさをかみしめた。これからゆっくりと感受しながら成長していきたいと思っている。

## 【大人の女性のためのしただツアー参加報告】

..... ツアーに参加された方からお手紙が届きました！

先日は、「大人の女性のためのしただツアー」に参加させていただき大変御世話になりました。

三条と下田が合併する時、下田の熊・鹿にも税金を使うのかと反対した人がいたとか聞いていますが、ツアーに参加して思った事は、三条は、とてつもない宝物をまかされたという事です。

その素晴らしくも厳しい大自然の恵みはもちろんのこと、それを守り育てている下田の人間のお人柄とでもいうのでしょうか、古い新しいにかかわらず、下田の地を愛し育てていくんだという心意気が、どの方にも感じられ、今まで忙しい事を言い訳に自分を磨く事など忘れていた私にはヨダレ(?)が出るほどの魅力的な出会いの連続でした。

スノーピークさんの永久保証という企業理念に三条の産業の将来感じ、みひろ窯の尾崎ご夫妻のにじみ出るお人柄、水害に負けないゴッツォ・ラーテの皆さんの懸命さとそのおいしさ!!佐野さんの棚田を守る気概、八木神社石澤宮司の興味深いお話しと回りの空気は隠されたパワースポットかも・・・。

三条新聞では知っていたけれど、実際の昨年の水害の爪あととは、1年経ってもまだこんな惨状を残している事も目にしっかり焼きつけておかねばと思います。

そして何よりコーディネーターの近藤洋子さんにすっかり魅了されてしまいました。貴重な彼女のレポートは、家族のお土産にも大好評でした。

このような出会いの機会を与えて下さった野崎さんはじめ女性会議の皆様にご心より御礼申し上げます。ありがとうございました！！

とみこ

## 三条女性会議では随時会員を募集しています

**Q.** 三条女性会議って、どんな団体？

**A.** 女性と男性があらゆる分野で、共に参画し、支え合う社会をつくることを目的に活動している市民活動団体です。

**Q.** どんな活動をしているの？

**A.** はい、次のような活動をしています。

●燕三条エフエム放送で「ワイワイ女性ひろば」を担当

本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

●毎月会報「鮮度一番！」の発行やホームページによる広報活動

●その他、男女共同参画社会実現に向けた活動

**Q.** 誰でも入れるの？

**A.** はい。女性だけでなく男性の会員さんも活躍しています。

年会費： ・一般会員 3千円 ・賛助会員 3千円 ・団体会員 1万円

連絡先： 野崎ミチコ Tel 32-3667 / E-mail: info@joseikaigi.net

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

### ◆会報「鮮度一番！」への投稿を募集しています

「鮮度一番」では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

●三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net

●FAX 0256-32-3679

●〒955-0044 三条市田島 2-12-12

編集後記：

今号から新コーナー「明日への一歩」がスタートしました。今号では、復興支援活動に携わっていかれる菅原さんの人となりを知ることができました。これからの～宮城からの復興だより～を楽しみに、そして三条から宮城の菅原さんにエールを送ります。ガンバレー！盛りだくさんの160号になりました。どうぞ、隅から隅までお読みください。（原）

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>